

令和 3 年 3 月 23 日（火）

J R 東日本発電取水総合対策市民協議会資料

建設部建設課 克雪利水係

（報告事項）

前回の市民協議会（R2.3.25）以降、開催された協議会等について

（1）令和3年1月27日（水） 第7回西大滝ダム下流水環境調査検討会

- ・ 主な内容＝令和2年度 西大滝ダム減水期間モニタリング調査結果
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面開催に変更

（2）令和3年1月27日（水） 第33回信濃川中流域水環境改善検討協議会

- ・ 主な内容＝令和2年度 宮中取水ダム減水期間モニタリング調査結果
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面開催に変更

【説明1】西大滝ダム減水期間におけるモニタリング調査内容・結果

- ・ 対象範囲 西大滝ダム下流域
(東京電力 信濃川発電所西大滝ダム～信濃川発電所放水口の間)
- ・ 西大滝ダムでは、河川維持流量として通年 $20\text{m}^3/\text{s}$ を放流

項目		調査内容
河川水温	① 水温計測	(調査地点) 西大滝ダム魚道、西大滝ダム下流左岸 (調査方法) 夏季高水温期 (7/26～9/5) に、自動水温計測機により 10 分間隔で計測
魚類の生息及び遡上・降下	② 生息・生育状況調査	(調査地点) 百合居橋 (栄村) (調査方法) 瀬、淵等の分布状況から代表地点設定し、春季・夏季・秋季に投網、タモ網、定置網、刺し網、はえ縄、どうを用いて魚類を捕獲
	③ サケ遡上調査	(調査地点) 西大滝ダム魚道 (調査方法) サケ遡上期 (9/11～11/10) に、魚道にトラップを仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲

- ・ 令和2年度の調査結果 資料1-1 参照

【説明 2】 宮中取水ダム減水区間におけるモニタリング調査内容・結果

- ・対象範囲 宮中取水ダム下流域

(J R 東日本信濃川発電所 宮中取水ダムから小千谷発電所放水口)

- ・ 宮中取水ダムでは河川維持流量として通年 40 m³/s 以上を放流
- ・ 6 月 1 日～11 月 10 日の間は J R 東日本の自主放流として 60m³/s 程度を放流
- ・ 7 月 20 日～9 月 10 日の間の隔週日曜日に 80 m³/ s 程度を放流。また、魚道流入水温 25℃以上、日最高気温 31℃を 2 日連続で観測し、かつ翌日の十日町市の予想最高気温が 31℃を超える場合も 80 m³/ s 程度を放流する

項目		調査内容
河川水温	① 水温計測	(調査地点) 宮中取水ダム (魚道)、十日町橋、栄橋、川井大橋 (小千谷) (調査方法) 夏季高水温期 (7/26～9/5) に 宮中取水ダム、栄橋は自動水温計測機により 10 分間隔で計測 十日町橋、川井大橋は水温回帰モデル計算を用いて水温を推定。栄橋でも水温回帰モデルによる水温推定を実施し、実測水温との誤差について検証
魚類の生息及び遡上・降下	② 生息・生育状況調査	(調査地点) 十日町橋 (春季)、妻有大橋 (夏季・秋季) (調査方法) 調査地点の早瀬、平瀬、淵、ワンドに調査箇所を設定し、春季・夏季・秋季に投網、タモ網、定置網、刺し網、はえ縄を用いて魚類を捕獲
	③サケ遡上調査	(調査地点) 宮中取水ダム魚道 (調査方法) サケ遡上期 (9/11～11/10) に、魚道にトラップを仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲 同時に、電極センサーを用いた自動計測を試験的に導入

- ・ 令和 2 年度の調査結果 資料 1-2 参照